

セシレ度シ

四 労務委員會ノ選舉方法ヲ改正ノ上指名委員半數職工側ヨリ半數

トセラレ度シ (現在委員ノ指名半數職工側ニシテ半數ノ規定ハモ定降ニ於テ)

五 殘業徹夜業ニ對シ火増セラレ度シ

第二号) 一會社側ノ讓歩案

一 解雇職工ノ復職ハ絶体ニ非絶ス

二 解雇手當六ヶ月分支給ハ會社ノ規定上絶体ニ應スルコト能ハス但レ共

濟會ヨリ幾部ノ手當ヲ支給スヘシ努力スベシ

三 労務委員會制度ノ改正ハ考慮ノ上改正ニ努ムヘシ

四 殘業歩合ノ研究ノ上増加スベシ

第三号) 一解決条件)

一 労務委員會制度ハ次回ノ期ヨリ改正スルコト

二 殘業手當ハ研究ノ上幾部増加スルコト

三 第一回解雇ハ依願解雇ノ形式ニ變更スルコト

四 共濟會ノ手當ハ評議員會決議ニ依リ日給ニ半日分支給ノコト

五 期末賞與ハ五月末決算ノ上在籍職工ト同率ノ額ヲ後送スルコト

六 今後不都合ナキ限リ解雇セサルコト

前記ノ次第ニテ四月二十四日以降十六日ニ涉リ紛糾ヲ極メ各爭議モ

何等ノ事故ナク急轉直下解決ヲ告ケタカ其理由ノ主ナルモノハ一、手

議ノ継続ノ爲疲勞困憊セルコト并漸次地方民ノ同情ヲ失ヒタルニ基因

ニ居リテ本爭議ニ関シ勞正會側ニ於テハ幾部目達ヲ達シタルモノノ如

キモ今會幹部其ノ他重立タルモノ全部ノ職首將來ニ非勤非ヤルハ

等多大ニ犠牲ヲ拂ヒ將來ノ團體活動ヲ勢力ハ依ニ減少スヘキモノト觀

察セラレ一面會社側ニ於テハ相當ノ損害ヲ蒙リタリト云モ予定ノ目的ノ

如ク將來ノ禍根ヲ一掃セルヲ以テ多大ノ犠牲ヲ償フヲ尚余アルモノト觀

測セラル